

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月9日

事業名	お試しサテライトオフィス運営事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	5-⑥	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ 該当あり

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	-	事業計画	単年度繰返し
	課	企業誘致課				款	-	新規or継続	継続事業
	係	企業誘致係				項	-	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	112	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	-	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市お試しサテライトオフィス設置要領		開始年度	R3	実施方法	直営
	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり			終了年度	R5	事業分類	その他市民に対する事業
	施策	2	企業誘致の促進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	市内の公共施設を活用し、国のお試しサテライトオフィス制度をに基づいたお試しサテライトオフィスを設置する。 ・令和3年度にまちなか活性化ビル佐野未来館の4階の一部を活用し、お試しサテライトオフィスを1件設置した。 ・総務省のホームページにて施設情報を公開し、都市部企業へのPRを実施する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	都市部（主に東京圏）のオフィス系企業やサテライトオフィスの設置により地方での事業展開が可能な企業にお試しサテライトオフィスを利用してもらい、市内にサテライトオフィス設置を検討してもらう
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
お試しサテライトオフィスを利用した企業数	社	1	3	3	-	-

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・お試しサテライトオフィスの運営 ・とちぎ企業立地・魅力発信セミナーにおいて、お試しサテライトオフィスのチラシを配布しPRを行った。 ・新型コロナウイルス感染症の分類変更を受け、お試しサテライトオフィスの存在意義について協議を行った。
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
お試しサテライトオフィス設置の 周知回数	回	1	1	1
事業費計	千円	0	0	0
一般財源	千円			
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	社会情勢の変化により地方部に開設したサテライトオフィス需要の減少や、民間事業者が運営するサテライトオフィス等への民業圧迫回避の観点及びデジタル田園都市国家構想推進交付金を受けて設置したCo×Co Worksなどによりニーズ調査が十分に行えることから、お試しサテライトオフィスの必要性が著しく低下したと判断し、令和6年3月31日をもってお試しサテライトオフィスを廃止した。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
お試しサテライトオフィスを利用した企業数	社	1	2	2	値が大きいほど良い	効果は変わらない
					値が大きいほど良い	
					値が大きいほど良い	
					値が大きいほど良い	
					値が大きいほど良い	

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果は変わらない

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度事業終了

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	サテライトオフィス等誘致事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	5-⑥	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	企業誘致課		サテライトオフィス等誘致事業		款	7	新規or継続	継続事業
	係	企業誘致係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	112	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	-	事業期間	開始年度	R4	実施方法	直営
	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり		終了年度	R6	事業分類	その他市民に対する事業	
	施策	2	企業誘致の促進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	地方での事業展開が可能な都市部のオフィス系企業を本市のサテライトオフィスに誘致することで、雇用機会の創出や移住・定住の促進、地域企業との連携等を通じて地域経済の活性化を図る。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	令和4年度に開設したコミュニティ・ワークスペース（Co×Co Works）の利用により交流人口を増加させる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		Co×Co Worksを利用する県外の企業数	事業所	-	-	5	6	8
		Co×Co Worksの県外在住利用者の割合	%	-	-	62.49	50	50

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	企業立地関連のセミナーに宣伝用チラシを持参し、興味のある企業へ配布した。 ・とちぎ企業立地・魅力発信セミナー（令和5年8月3日） ・とちぎ企業立地・魅力発信セミナーin大阪（令和5年11月8日）（PRチラシ提供のみ） ・第16回オートモーティブワールド（令和6年1月24日～26日）（PRチラシ提供のみ）	活動指標	単位	R3	R4	R5
		誘致活動件数	件	-	13	37
		事業費計	千円	0	0	21
		一般財源	千円			21
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	佐野市のサテライトオフィスに興味を持ってもらった。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		Co×Co Worksを利用する県外の企業数	事業所	-	6	8	値が大きいほど良い	効果が上がった
		Co×Co Worksの県外在住利用者の割合	%	-	75.0	66.6	値が大きいほど良い	効果が下がった
							値が大きいほど良い	
							値が大きいほど良い	

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標					
	効果が下がった指標数	1指標					
	指標全体	効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

事業計画書に記載したKPIのうち、利用人数が未達成であった。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 令和7年度にニーズに合わせた企業誘致活動を行うための「企業誘致活動事業」を予算事業として設定。本事業は企業誘致活動事業に統合し、包括的な企業誘致活動及びKPI管理を行うこととするため、令和6年度を以てサテライトオフィス等誘致事業を終了とする。
---	---